

2023(令和5)年度ケーブルテレビ栃木 放送番組審議会

議事録

1. 開催日時 2024年3月8日(金) 14:00～15:10
2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社 栃木センター 大会議室
3. 出席委員 審議委員総数 10名 出席委員数 9名(随員1名)

■出席者(敬称略)

大 川 秀 子	会 長	(栃木市長)
膝 附 武 男	委 員	(栃木商工会議所 副会頭)
栗 原 晃 一	委員代理	(大平町商工会 事務局長)
伊 藤 邦 夫	委 員	(藤岡町商工会 会長)
安 藤 芳 雄	委 員	(岩舟町商工会 会長)
三 室 一 男	委 員	(都賀町商工会 会長)
山 岸 弘 幸	委 員	(西方商工会 会長)
吉 田 学	委 員	(栃木警察署 署長)
上 岡 健 司	委 員	(栃木市消防本部 消防長)

■ケーブルテレビ株式会社 出席5名

高 田 光 浩	(代表取締役社長)
中 沢 利樹男	(常務取締役)
今 泉 勉	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長)
田部井 肇 子	(コンテンツ部 地域プロモーション課 係長)
小 林 満那子	(コンテンツ部 地域プロモーション課 主任)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2023年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

5. 議事

(1) ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

① 【全国向け番組】 壮観劇場 熱気球と渡良瀬遊水地

【委員】 藤岡が取り上げられる機会が多くあり、大変ありがたい。出演したパイロットは、栃木市が始めた「農地付き空き家」を活用して移住した。地域にもなじんでいる。大成功ではないか。番組に登場した職人さんも、よしず編みで毎年 CATV はじめ多くのメディアに取り上げられている。

【委員】 渡良瀬遊水地 “ならでは” の雄大な景色が表現されており、見映えがあってよかった。栃木の魅力の全国発信はありがたい。コウノトリが栃木市側の人工巣塔に雄雌 2 羽で来ているので、今後に期待している。

【委員】 熱気球、まさに壮観な画面だった。私自身もその足元で育ったが、遊水地のすばらしさ、臨場感、映像のとらえ方が見事で感心した。

② 安全安心だより「交通ルール徹底」

【委員】 寸劇は毎回見ている。だんだん上手になっていて、すごく努力している。署長も出演機会が多く、警察を挙げて PR していることが感じられる。

【委員】 交通天使は、職員自らの発案。担当課内で内容を練り上げ、キャスティングも決めている。栃木署の顔として、地域で声をかけられるようになってきたのはケーブルテレビのおかげだと思う。栃木市内の交通死亡事故が昨年 0 だったのは、安全安心だよりを含め、普段からの広報活動が功を奏した。引き続き安全安心だよりは、一生懸命に取り組んでいきたい。

③ とちぎ HOT ステーション 6/12 号

【委員】 HOT ステーションは毎回録画して見ている。栃木県誕生 150 周年記念イベントをはじめ、地域的话题を多く取り上げられている。政策フェローとのディスカッションでは、市長の栃木市を盛り立てようという市民愛を感じた。

④ 【参考番組】

第49回日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード 準グランプリ 道 ~ひととはかならず変わる~

【委員】 こんな人がいるのだと初めて知り、感銘を受けた。

【委員】 栃木市にこのような女性がいることを知って感激した。大変良かった。

【委員】 更生施設で一生懸命頑張っている話。

地元密着で取材活動をするケーブルテレビには本当に感心させられる。

【委員】 素晴らしかった。自立の難しさもわかった。周りの協力が必要。こういう取り組みをしている人がいるということがあの番組で伝わった。

【CATV】 日本ケーブルテレビ連盟加盟全国約 350 社の中から、毎年、各社制作番組を審査する「番組アワード」において、今年度、初の準グランプリに選ばれた。制作スタッフの頑張り、努力の結果であると思う。次こそグランプリを獲得するという意識でさらに番組制作に取り組んでいく。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委員】 ヨシ焼きはぜひ、栃木市側から撮影してほしい。

【CATV】 例年ケーブルテレビでは、栃木市側から撮影している。

【委員】 都賀地域のつがの里は、木の遊具が新しくなり、緑も多く、四季折々の花も楽しめる。広々としていて散歩にもいい。コミュニティセンターや体験交流館など施設も充実している。ぜひ、多くの市民、市外の方に知ってもらい、活用してもらいたい。ぜひケーブルテレビでPRしてほしい。

【CATV】 3月末から始まる花彩祭をはじめ、イベントや施設の魅力を積極的に取材していく。また当日の取材のほか、より多くの人に来てもらえるよう事前告知にも前年映像等を活用し取り組む。このほか、イベント関係者にスタジオ出演していただき、現場に関わる方の熱のこもった話を紹介したい。

【委員】 栃木市には多くの高校があり、卒業生は誇りをもって生きている。全国で活躍する優秀な生徒もいる。志望の少ない学校など幅広く取材してほしい。

【委員】 (高校再編に関連して) 農工商が栃木市内にそろっているというのは、自慢だった。(再編後も)それぞれの学校の記憶として、後に残ってく。新しくなっても人材育成という形で継続できるようにアピールしてもらおうとありがたい。

【CATV】 今年度は栃木農業高校の和牛甲子園、栃木女子高校の高校生バンドなど、様々な活動に取り組む姿を取材した。それぞれの高校の特長、様々なことにチャレンジする姿を、しっかり情報収集し、地域に届けていきたい。

以上